

富士見が丘地区

基本理念

ご近所どうして助け合い 安全・安心・快適なまちづくり

目指すまちの姿

- 安全・安心なまち
- 顔見知り、みんなが仲良く
- 誰もが安心して地域活動に参加できる
- ご近所同士の声かけ
- 子育てしやすい



第4期計画の取組と成果

地域福祉保健計画推進委員会では、これまでの50人規模の会からで開催していたが、新型コロナの影響から6つの目標ごとに関連する団体にお集まりいただき、20人前後で会を開催する工夫を行った。

【目標1】地域活動に参加するきっかけを作ろう

自治会町内会単位のお祭りにも地区内の福祉施設に声をかけて、参加や出店をしてもらった。

【目標2】災害時に強いつながりを作ろう

【目標4】地域の中で「障がい」に対する理解を深めよう

福祉用具や車椅子の利用方法について業者を招いて研修を行ったり、施設で車椅子の介助方法について講習等を開催した。また障害者の講演会を毎年開催している自治会町内会もある。

【目標3】身近な場所で健康づくりを進めよう

サロン等、各団体でポッチャの活動を行った。

【目標4】地域の中で「障がい」に対する理解を深めよう

移動販売ぽかぽかマートにて、障害者施設も販売事業所として参加し、地域の見守り・交流の一員となっている。

【目標5】地域で子育てを応援しよう

- ・新型コロナの影響もあったが、昨年はお芋掘りや子育てに関する講演会を開催することができた。
- ・新型コロナの影響で中止していたが、令和5年度より中学生と赤ちゃんが触れ合う機会を設けた。

【目標6】高齢者がいきがいをもてるようにしよう

- ・地元の住職を講師に招いて、「今楽しく生きること」をテーマにした講演会を実施し、50人ほど参加した。介護保険制度についての講演会を開催し、制度の理解を深めた。
- ・認知症に関する正しい理解を深めるため、令和5年度は認知症講演会を2カ所で開催。

今後取り組む内容・課題

- ・【目標1】【目標3】【目標4】健康づくりの各団体がポッチャを取り入れた活動を行っており、障害者施設をはじめ、今後広い範囲でポッチャを取り入れた交流を行えるように、声をかけていく。また、地区社協でもポッチャを通して各自治会が交流できるような事業に取り組む。
- ・【目標2】どの自治会も支援者の数の不足や要援護者・支援者の管理が難しいという課題がある。このような課題と日頃の繋がりが大切だという事を発信していきたい。
- ・【目標4】10月の連合祭りにて障害者施設にブースを出店依頼。各施設の取組を紹介したり、作品を展示するなどして交流を図る予定だったが、雨天で中止となってしまった。施設も地域も交流の場を大切にしているので、地域福祉保健計画推進委員会を通して、お互いの想いを発信し、今後の繋がりのきっかけとしたい。
- ・【目標5】多世代交流を行っていきたい。今後も中学生と赤ちゃんが触れ合う機会を設ける。
- ・【目標6】地区の全体的な課題として、小さな単位で進んでいる取組をネットワーク化して、横のつながりを強化する。